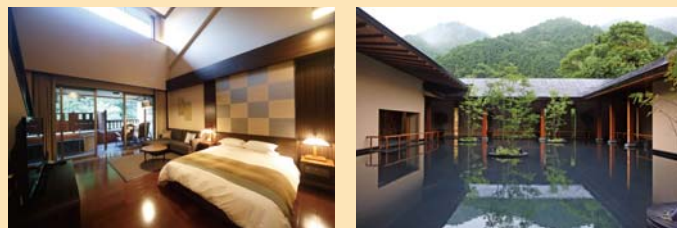


# 全室かけ流し露天風呂 別邸 音信



和自然との共生を感じる解放的なエントランスホール



山口県を代表する老舗・大谷山荘の別館。回廊を巡り水盤を臨むアプローチが非日常空間へと誘う。客室は和洋室・メゾネット・テラス付きなど7タイプ。すべてに源泉かけ流しの露天風呂が付き、極上の滞在が叶う。濃いブラウンを基調にした落ち着いた雰囲気、パーヤスパ、ライブラリー、フィットネスジムまで類を見ない充実の設備。連泊にも向いている。

■住所:山口県長門市深川湯本2208  
■tel:0837-25-3377 ■全18室  
■料金:1泊2食42,100円~(消費税・入湯税込)

# 武家文化と現代建築を融合 界 長門



爽やかなみかんとうぶくが合わさり  
さっぱりといただける「ひぐと牛の源平鍋」



星野リゾートの温泉旅館ブランド「界」。宿の滞在だけでなく、温泉街の活性化を旗印に掲げている。そのため中庭からあげぼの門を抜けると、すぐに温泉街に出かけられる。客室は徳地和紙や萩焼、大内塗など、地元の工芸品を贅沢に取り入れたご当地部屋。幕末の志士たちも愛用した赤間硯を使い、扇子型の和紙に絵や文字を描くご当地楽「大人の墨あそび」に興じてみよう。

■住所:山口県長門市深川湯本2229-1  
■tel:0570-073-011(界予約センター) ■全40室  
■料金:1泊2食25,000円~(消費税・入湯税込)  
※料金は2021年9月時点



①岩肌から湯が湧き出す「恩湯」。建て替えの際に岩の隙間から温泉が湧くことが発見された。泉質はアルカリ性単純温泉。現代的なデザインとむき出しの岩盤の対比が面白い。

②「恩湯」は周囲の自然環境とうまく溶け込む平屋造り。建築家・岡昇平氏の現代的なデザイン。  
営業時間10~22時、大人700円(土日祝800円)、第3火曜休み。  
tel:0837-25-4100



今から600年ほど前、住吉大明神のお告げで開かれた山口県の長門湯本温泉。さびれた温泉街を活性化しようと街並みが整備され、2020年には共同湯「恩湯」がリニューアル、新しい旅館も開業した。地域に新たな風が吹き始めている。

# 温泉街の夜を彩る幻想的な光の演出

現代的な建築構造でリニューアルした共同湯「恩湯」は、温泉街のシンボリック存在だ。湯船は深さ1メートルの深湯。四角い湯船の先にはしめ縄がかけられ、袈裟懸けの住吉大明神像が鎮座する。源泉はむき出しの岩盤から染み出しているという。湯船に身を沈めると、36~38℃とぬるめの温度なの

に、力強さを感じた。ぬるりとした肌触りのお湯は無色透明だが、白い湯の花が浮遊し、「神授の湯」と呼ぶにふさわしい神々しさをまとっている。小腹が空いたので、築70年の古民家を改装した複合施設「だいち長屋」に立ち寄った。瓦そば専門店「柳屋」で瓦そばを注文すると、熱々に熱した瓦の上のつた茶そばがジュージューと音を立てて運ばれてきた。西南戦争の折に薩摩軍の兵士たちが合戦の合間に肉や野草を瓦で焼いて食べたのが由来。今や山口県の郷土料理となっている。音信川には京都のような「川床」がある。川沿いの店でスイーツをテイクアウトして川床に持ち込むもよし、萩焼の器を扱う「カフェ&ポタリイ音」の川床テラスで自家製ケーキを味わうもよし。

冬には、童謡詩人「金子みすゞ」の詩の朗読と音楽に合わせて幻想的な灯りで演出するイベント「音信川うたあかり」も行われる。



柳屋の「瓦そば」。分厚い黒瓦の上に、茶そば・黄色い錦糸卵・牛肉・長門ねぎがのって彩りも華やか



国道沿いの長門湯本駐車場と温泉街の間にある「竹林の階段」。階段沿いに数百本の竹林が植えられ、夕方になるとライトアップされる



プレゼント情報  
萩市の陶芸家 3名様♪  
「金子司氏作 まめ皿」1枚  
直径12cm  
色、柄はおまかせください

Profile CHIKAKO NOZOE

旅行作家 野添ちかこ

観光の専門紙記者を経て、2006年からフリーで活動を開始。NIKKEIプラス1(日本経済新聞社)『湯の心旅』、旅の手帖(交通新聞社)『会いに行きたい温泉宿』などで温泉記事を連載中。著書に『千葉の湯めぐり』。3つ星温泉ソムリエ、温泉利用指導者(厚生労働省認定)

おススメスポット

水温は年間を通して14~15℃。カルスト大地の伏流水でカルシウムなど豊富なミネラル分を含む

コバルトブルーの神秘的な泉 別府弁天池

別府巖島神社の境内に湧出する「別府弁天池」は透き通ったコバルトブルーの美しい湧水池。毎秒186リットルという豊富な水量で、生活用水として利用する住民の姿も見られる。併設の「美祢市養鱒場釣り堀」で釣ったニジマス、食卓処「弁天会館」で調理してもらって食すこともできる。

■時間:境内自由 ■料金:無料  
■美祢市総合観光部 tel:0837-62-0305